



グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

01 正しい色を表現する

02 牧野富太郎と植物画

Vol.314

2023/7/01



町田善康 《町有林の王様》

Photo 今月の1枚

生物多様性に配慮し、持続可能な林業が行われている美幌町有林。およそ1200haもの広大なこの森の頂点に君臨するのがオジロワシです。翼を広げると2mを越え、その勇ましい姿を見れば、誰しものが心を奪われる野鳥です。私は、この鳥が、子育てできる豊かな森がある美幌町を誇りに思います。写真は、営巣状況調査の一環として、繁殖に悪影響が無く、いようフラインドを使用し、短い時間で撮影しています。(町田善康)

BIHM0102708



01 Green Column グリーンコラム

正しい色を 表現する

写真・文／町田善康

グリーンレターがカラーになりましたので、デジタルカメラの写真（デジタル写真）の色についてお話します。

近年、デジタル写真の普及に伴い正しい色を表現することが一層難しくなりました。というのも、デジタル写真は、カメラや液晶ディスプレイの機種によって画面の色合いが大きく変化します。家電量販店で、テレビを見比べた経験がある方にはわかると思いますが、同じ番組が放送されているのに、出演者の顔色や景色が大きく違ってたはずです。これは、メーカー各社の色の表現方法に違いがあるからです。また、印刷物でも、プリンターの機種や紙の種類で、色が大きく変わってきます。

そのため、博物館では100年以上先の人達でも正しい色を理解できるように、デジタル写真を撮る必要が生じ

てきました。テレビの話題で紹介したように、画面などで色を合わせることはできません。

そこで、私たちは、基準となる色を配置したカラーチャートを使います。カラーチャートとは、赤、青、白、黒など様々な色見本を配置したもので、色彩の再現性のチェックや色の比較・測定に使われます。

一方、カラーチャートの使用によって、誰でも共通の色を理解できるようになり、生き物の色の違いを客観的に評価できるようになりました。今まで色の濃い薄いなど、観察者の主観にとらわれていた生き物の色の違いも、はっきり白黒つけられるようになったのです。

牧野富太郎と 植物画

植物画／高知県立牧野植物園 文／城坂結実

牧野富太郎という名前に、聞き覚えはあるでしょうか。植物に関心のある方なら、ご存知かもしれません。「日本の植物分類学の父」と呼ばれ、現在放送中の朝の連続テレビ小説「らんまん」のモデルになっている人物です。

後年「私は植物の愛人としてこの世に生まれ来たように感じます。」と自ら語るほど、幼い時分から植物に情熱を注ぎ、一生涯を捧げた牧野。江戸時代の末期の生まれで、その頃の日本にはまだ、名前のない植物がたくさんありました。そんな中、独学で植物について学び、いつしか日本の植物誌を完成したいという志を持つようになります。94歳の生涯で、新種や新品種など約1500種以上の植物に命名し、78歳で発行した「牧野日本植物図鑑」は、現在でも研究者や愛好家に親しまれているほどです。

その「牧野日本植物図鑑」をはじめ、様々な書籍に挿入されている植物画は、



牧野の自身の手によるものです。とても細かく描き込まれた植物画は、ただ美しいだけでなく、植物を調べる上で必要な部分が工夫を凝らして描かれています。写真は、牧野が描いた食虫植物のクウシンソウです。

当館で、7月1日（土）から始まるロビー展「すごい標本！すごい資料！」では、牧野が採取した植物標本写真や、植物画の複製などを展示します。草木とともに、^{てんしんらんまん}天真爛漫に笑っている牧野富太郎の肖像と併せて、ぜひご覧ください。

参考サイト：「高知県立牧野植物園」

<https://www.makino.or.jp>

Exhibition 展示

特別展「カメラは見た！動物たちの素顔」
～ 10月22日（日）

ロビー展「すごい標本！すごい資料！」
7月1日（土）～10月9日（月・祝）

Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

夏だ！昆虫グッズ！無料レンタル

7/1（土）～8/31（木）
美幌博物館・無料
申込み／申込み不要

北海道みんなの日 無料開館

7/17（月）
美幌博物館・無料

博物館講座（自然編）「写真教室」

7/15（土）① 10:00-12:00、② 14:00-16:00
美幌博物館、みどりの村森林公園・100円
講 師／前川貴行氏（写真家）
対 象／中学生以上（小学生以下は保護者同伴）
申込み／美幌博物館へ電話申込み（7/1～7/12）。各回定員25名。

博物館講座（自然編）「ヘイケボタルを見てみよう」

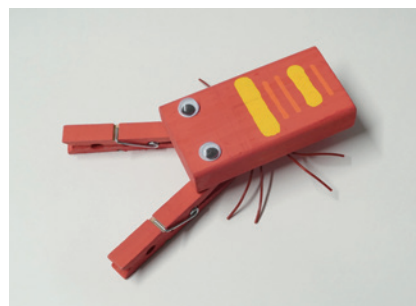
7/22（土）18:30-21:00
美幌博物館、日並地区・100円
講 師／鬼丸和幸（美幌博物館）
対 象／中学生以上（小学生以下は保護者同伴）
申込み／美幌博物館へ電話申込み（7/1～7/19）。定員25名。

プチ工房「ザリガニばさみ」

7/28（金）、29（土）10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了
美幌博物館1階 講座室・300円
講 師／町田善康（美幌博物館）
対 象／どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
申込み／申込み不要

夏休み歴史教室「原始時代を体験しよう」

7/30（日）9:30-15:00
古梅地区・500円（保護者は100円）
講 師／八重柏誠（美幌博物館）
対 象／小学生以上（小学生以下は保護者同伴）
申込み／美幌博物館へ電話申込み（7/1-7/26）。定員20名。



Tweet つぶやき

いつも美幌博物館を応援してくださっている、本田忠盛様よりご寄付をいただき、カラー印刷機を購入しました！グリーンレターのデザインも、カラーを活かせるものに刷新。魅力が増して、作り手としてもうれしいです。みなさま、今後ともご愛読ください。（城坂結実）



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館
【デザイン】城坂結実
【編集】城坂結実
【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002
北海道網走郡美幌町字美倉 253-4
Tel. 0152 (72) 2160
Fax. 0152 (72) 2162

